

算数・数学教育を学び続ける教員コミュニティの構築

教育学研究科 准教授 下村 岳人

下村研究室では、学校現場の教員と大学院生（学部生）が議論し、算数・数学教育についての学びを深めたり、より良い授業を追究したりする場の提供に努めてきています。ここでは、その主な取り組みについて紹介します。1つ目は、山陰地域の教員を対象とした「算陰セミナー」（4ヶ月に一度）を開催しています。本セミナーには、島根県、鳥取県、広島県などの小学校現場で働く教員が集い、学習指導案の検討を行ったり板書計画を実際に立ててみたりするなどして、皆で明日の授業をより良いものとするために話し合っています。2つ目は、毎月最終金曜日に下村研究室を修了・卒業した現職教員を対象とした「金ゼミ」を開催しています。ここでは、教育時事について共有したり、自身の研究テーマに基づく研究成果を発表したりするなど各々が研鑽に努めています。また、どちらの取り組みも、島根大学大学院教育学研究科を修了した現職教員と現大学院生が連携しながら事務局を担っており、教員コミュニティの構築にも努めてくれています。

